

# 千年の森便り No.220

2022.01.20

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.html.xdomain.jp/>

代表 坂本文雄 編集 真鍋昌義

[sennennomori@hotmail.co.jp](mailto:sennennomori@hotmail.co.jp)

## 活動の記録

### 1月16日(日) 快晴

2022年最初の活動日は特段の作業予定は立てず、安全祈願と年度計画の話し合いをしました。

山の神様を祀る祠山への通路にもナラ枯れの被害木が枯れ枝を伸ばしているのので、それを迂回して危険を避けました。頭上を気にして上を見て歩くと樹間から冬晴れの青空が見えました。危険木の倒伐が進んだ所では見える青空の範囲が広がり、林床が明るくなっています。

山の神様には会の発足以来これまで活動が継続できていることへの感謝の言葉とこれからの安全を声に出してお願いしました。色々な危険に直面している現状ですから、二礼二拍手一礼も作法通りで心がこもっていたと思います。

久我さんから会の発展を願うとの発声による乾杯で安全祈願の儀式を終えました。

昼食は会場を島外に移して、熱々のつみれ汁を作りました。里芋、大根、白菜、ネギは私の菜園で収穫したものです。本来なら野菜類は現地で栽培し地産地消としたかったのですが、獣害で目論見が外れてしまいました。参加者は伊藤 鶴沢 大原 久我夫妻 坂本 中田 福島の8名でした。(坂本)



山の神にお神酒を



久我さんの発声で安全を祈願

### ○今後の活動についての意見交換を行いました

現在の会の喫緊の課題は、2019年の房総半島台風と、急速に拡大したナラ枯れの被害木を処理し、安全に会の活動ができる場所を確保することです。このため、現在は年間の活動計画を一時ストップして被害木の伐採作業に取り組んでいます。今回は、年の初めの活動ということで、これからの活動について参加者で意見交換を行いました。以下にその内容を簡単にご紹介します。

- ・現在行っている被害木(枯死木)の伐採については、吊り橋から広場を含む島の東側の平坦部分を対象に、安全に活動できる場所を確保することを目的に継続して実施する。
- ・一部の枯死木はそのまま残して森の変化を観察したい。
- ・伐採した材の活用として、立っている木を心柱として五重の塔のように周囲に六角形の井桁の形に組み上げ、上から森を観察できるようにしたい。その場合、伐採した材は2.6m(最低2.5m)に玉切る。
- ・広場のテーブル、屋根の骨組みを補修する。
- ・物置の整理と補修。
- ・5月の観察会、きのご観察会は、安全面から一般の方を受け入れるのは難しいので、実施方法について検討する。

・会の活動が始まって19年目。会員の高齢化が進んでいることから、積極的に会員の募集を行ってはどうか。物づくり、森の中で瞑想、ソロキャンプ（島内では火は使えない）などでアピールする。

会員の皆さんのあれをやりたい、これをやりたいという発想が、会の活動の原動力となっています。活動へのご意見をお寄せください。（福島）

## ○ネズに注目

君津市のダムに浮かぶ島、豊英島での活動でした。

年初の恒例行事、全員で島の頂上にある祠にお参りをし、昨年安全に活動できたお礼と次年度の安全を祈願しました。その後、メンバーみんなで島の散策をしました。

島内は、鹿の食害が進んでいます。鹿は泳ぐことができるので、島に渡ってきて多くの草や木々の幼木をたべてしまうのです。既に成長した木は生き続けられるのですが、これから成長しようとする木はほとんど食べられてしまいます。

その中で、多く生き残っているのが針葉樹の幼木です。今回、特に私が注目したのがネズ。

細い葉っぱは、やわらかいのですが、握ると激痛が走ります。ネズミの通り道に置くとネズミが近寄れないということで「ネズミサシ」→「ネズ」となったとか。

とにかく痛い！これでは鹿も食べられませんね。既に成長したネズはほとんどが豊英島の切れ落ちた急峻な崖っぷちでなんとか自分を支えつつ生きてきた感じです。

本来の生態系では、樹が生きやすい穏やかな環境の場所は成長の早い広葉樹に占有され、ネズは、こんな場所でしか生きられなかったのでしょうか。（豊英島は元々里山で人工林でしたが、活用がなくなり、本来の自然に近い森に戻ろうとしていたと考えられます。）

ですが、今あちこちにとげとげの葉っぱだらけのネズの幼木が成長しているのが目立ちます。

鹿が増えることで、広葉樹の幼木が食べられ減ったところに、ネズのような針葉樹が成長しやすくなっているんですね。

鹿<sup>🦌</sup>など草食動物の増加による森との変化は、すごい勢いで進んでいます。（中田）



ほこら山のネズ



ネズの幼木



斜面のヒメコマツにちいさな松ぼっくりが(写真の中央)

## ○植生保護柵内にシカが侵入

広場の北側にある植生保護柵の入り口部分のネットに、直径 50 cm くらいの穴が開いていました。柵内を確認したところ、保護されていた植物が激しく食害を受けていました。また、柵内にはシカのフンが…。柵内にシカが侵入してしまったようです。穴は応急処置で塞ぎましたが、植生を保護するためには柵のメンテナンスが重要であることを痛感しました。（福島）

## ○久しぶりに火を囲んで

活動日は快晴でしたが非常に寒く、島外の農地脇で久しぶりに火を囲みました。坂本代表の手作り野菜がたっぷり入ったつみれ汁を味わいながら、会の活動のみならず身近な出来事をあれこれと話していると、気持ちまで暖かくなりました。ご馳走様でした。



祠は豊英島のかつての所有者が建立



つみれ汁に舌鼓(島外)

## お知らせ

### ○次回の活動日は 2 月 20 日（日）です

年間計画では光環境調査と植生保護柵の設置となっていますが、光環境調査は中止して植生保護柵の設置とナラ枯れによる枯死木の伐採作業を行う予定です。なお、今後の新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては予定が変更となるかもしれませんのでご了承ください。なお、活動の際は必ずヘルメットの着用をお願いします。